

北海道航空 ネットワークビジョン

5つの視点による施策展開の これまでの動き

平成31年3月

未来をリードするHokkaido型航空ネットワークの実現

世界の成長力を取り込む
ダイナミックな国際路線

リーズナブルな運賃など
利便性の高い道内路線

全国をカバーし
交流人口を拡大させる
国内路線

めざす姿の実現に向け、5つの視点に基づき施策を展開

経済・産業をリード！

①新たな人の流れをつくるネットワークの形成

②海外・道外へ向けた航空貨物輸送の拡大

安心な暮らしを次世代へ！

③生活と医療を支える路線の維持・確保

利用者本位の空港へ！

④空港の機能強化と利便性向上

「めざす姿を」実現する
推進エンジン！

⑤地域と一体となった戦略的な空港間連携

① 新たな人の流れをつくるネットワークの形成

航空ネットワークの充実・強化

【主な施策】

- ◆航空需要の創出に向けた「稼ぐ地域協働モデル」の構築
- ◆新規路線就航に向けたトライアル運航の検討
- ◆世界の成長市場へ路線の誘致を拡大

今年度の主な取組

- ひがし北海道初となるLCC（ピーチアビエーション）が、釧路－関空線を開設
- 「北海道航空振興基金」を活用した、道内空港新規路線誘致に係る補助の実施
- 実証実験(トライアル運航)に向けた調査研究の実施（未就航区間の分析、効果的な実証実験手法の研究）
- 長距離航空路線利用実態・可能性調査事業の実施（北米・欧州・中東の長距離路線の利用実態の把握など）
- 道幹部による海外エアラインへのプロモーションの実施（欧州路線の就航決定、マニラ・ウラジオストクの路線開設）
- 海外エアライン等と連携した、海外メディア等の招聘によるFAMツアーや、機内誌への広告掲載の実施
- ひがし北海道5空港利用促進協議会の開催（空港ビル関係者、自治体職員における意見交換など）
- 海外旅行フェアの開催
- 道外空港と連携したイベントへの出展



道幹部による海外プロモーション



海外旅行フェアの開催

② 海外・道外へ向けた航空貨物輸送の拡大

航空輸出の強化・拡大、国内小口貨物輸送の促進

【主な施策】

- ◆生鮮食品など高付加価値商品の輸出拡大
- ◆道外地域から新千歳空港経由での輸出の推進

今年度の主な取組

- 新千歳空港で国際貨物を取り扱う札幌国際エアカーゴターミナル（株）（通称：SIACT）では、国際貨物の増加に対応するため、新たな貨物保管庫（輸入貨物用）を整備
- 新千歳空港国際化推進協議会では、SIACTを利用し、生鮮食料品貨物を初めて輸出する荷主に対して助成を実施
- 関係団体による「北海道交通・物流連携会議 物流対策WG」を設置し、本道の物流対策について検討



SIACTによる新貨物保管庫の整備

③ 生活と医療を支える路線の維持・確保

離島路線の維持、代替交通機関に限られる地域の路線の充実

【主な方策】

- ◆航空事業者と地域の連携による離島路線の維持
- ◆離島住民割引運賃制度の充実
- ◆地方路線を対象とした新たな運航支援の研究

今年度の主な取組

- 離島航空路線協議会の開催
- 離島路線について、国や町と共に、航空会社への運航支援や住民等運賃の低廉化を実施
- 地域航空路線を対象とした運航支援等に関する調査研究事業の実施



離島航空路線協議会の開催

④ 空港の機能強化と利便性向上

訪日外国人などの受入体制の充実・強化、利用者本位の空港機能の高度化

【主な施策】

- ◆新千歳空港国際線ターミナルの拡張及び国内線旅客の混雑緩和
- ◆「安心」と「情報」を届けるコンシェルジュ機能の充実
- ◆災害等に備えた機能強化

今年度の主な取組

- 新千歳空港24時間運用の推進（住宅防音対策・地域振興対策、深夜・早朝枠の活用促進に係る国際チャーター便に対応した空港送迎バスの実証運行事業の実施）
- 「北海道交通・物流連携会議」に「情報共有・対応強化WG」を設置し、災害時等におけるわかりやすい交通情報の提供や関係者が連携した対応方策を検討
- J R北海道では、新千歳空港において、外国人にも対応できるインフォメーションデスクを拡大し、訪日外国人への対応を強化
- 施設の耐震化や除雪体制の充実・強化（中標津空港において液状化の判定を行うための地質調査を実施）



空港送迎バス	
札幌市内⇄新千歳空港	新千歳空港⇄札幌市内
21:10 新千歳空港(バス停)	01:10 新千歳空港
22:35 中標津	02:10 札幌新中央駅前
23:40 千代田駅前	03:45 札幌駅前
23:45 大通公園	03:55 大通公園
23:55 札幌駅前	04:00 千代田駅前
24:20 札幌新中央駅前	04:05 中標津
01:10 新千歳空港	04:20 地下鉄東区役所(乗込)付近

空港送迎バス実施例



インフォメーションデスクの拡大

⑤ 地域と一体となった戦略的な空港間連携



7空港一括民間委託及び民間委託を選択しない空港を含めた13空港の連携

【主な方策】

◆SPC等との連携による北海道全体の航空ネットワークの充実・強化

今年度の主な取組

○道内7空港の一括民間委託に向けた審査プロセスの推進

圏域での空港間連携

【主な方策】

◆道東・道北の広域観光周遊ルートなどを活用したイン・アウト空港の分散

今年度の主な取組

- 往路と復路で異なる空港、または新幹線を活用したうえで、新たな観光素材も活用し、周遊を促進する北海道旅行商品の造成
- 海外エアライン等と連携した、海外メディア等の招聘によるFAMツアーの実施（再掲）



「きた北海道ルート観光周遊ルート」



「ひがし北海道観光周遊ルート」